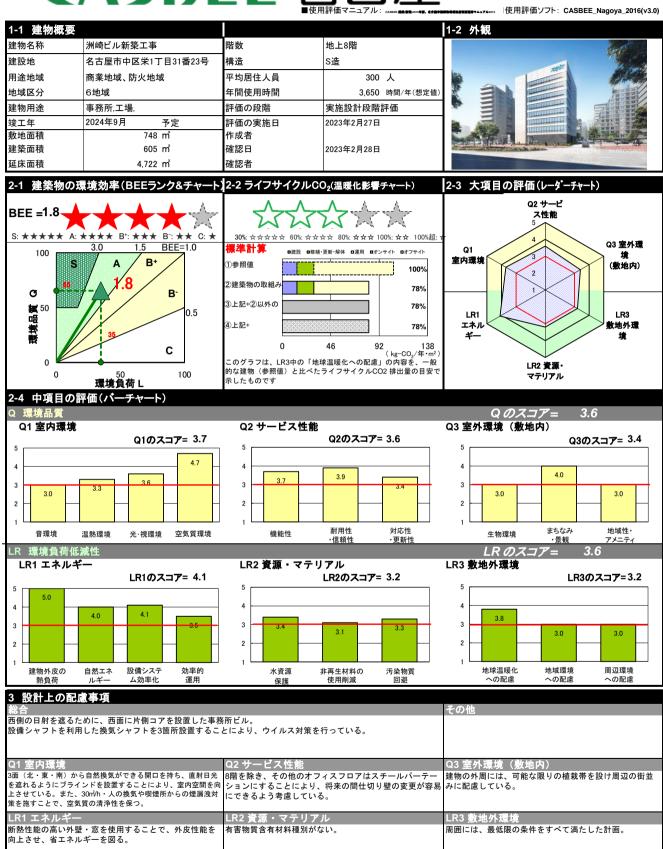
【**八S**BEE[®] **名**古屋 Ⅰ 評価結果



- ■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
- ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【八SBEE 名古屋 ■評価結果■

重点項目スコア・結果シート

洲崎ビル新築工事

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル:

■評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

	重点項目	評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				
LR1	エネルギー	4.2	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.8	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
2. 自然共生				2.9
Q3.1	生物環境の保全と創出	3.0	0.091653255	
Q3.3.1 Q3.2	地域性への配慮、快適性の向上 まちなみ・景観への配慮 地域性のある材料の使用※1	無	0.009165325	
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045826627	
3. 循環型社会				3.2
LR2.1	水資源保護	3.4	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.1	0.18	
LR3.2.3	R3.2.3 地域インフラへの負荷抑制 ※2		0.01875	

結果 1. 温暖化対策	評価点 = 3.9
2. 自然共生	評価点 = 2.9
3. 循環型社会	評価点 = 3.2

重点項目のスコアは以下のように算出している。

重点項目スコア= (評価点×全体に対する重み)の総和 全体に対する重みの総和

※1 ここでは、Q3.3.1の評価する取組みのうち評価項目 I2)地域性のある材料の使用 又は、Q3.2において評価 する取組みのうち評価項目 4)地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない 場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ 3.3.1の全体に対する重みに0.2を乗じたものとしている。

%2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。